



ZERO

2022年6月期
決算説明資料
(2021年7月~2022年6月)

2022年8月10日
株式会社ゼロ 代表取締役社長
北村 竹朗

◆ 目次

① 2022年6月期の振り返り

- 2022年6月期の国内自動車総市場
- 2022年6月期の業績概要と業績分析

② 2023年6月期の展望

- 2023年6月期の業績予想とその前提

◆ 目次

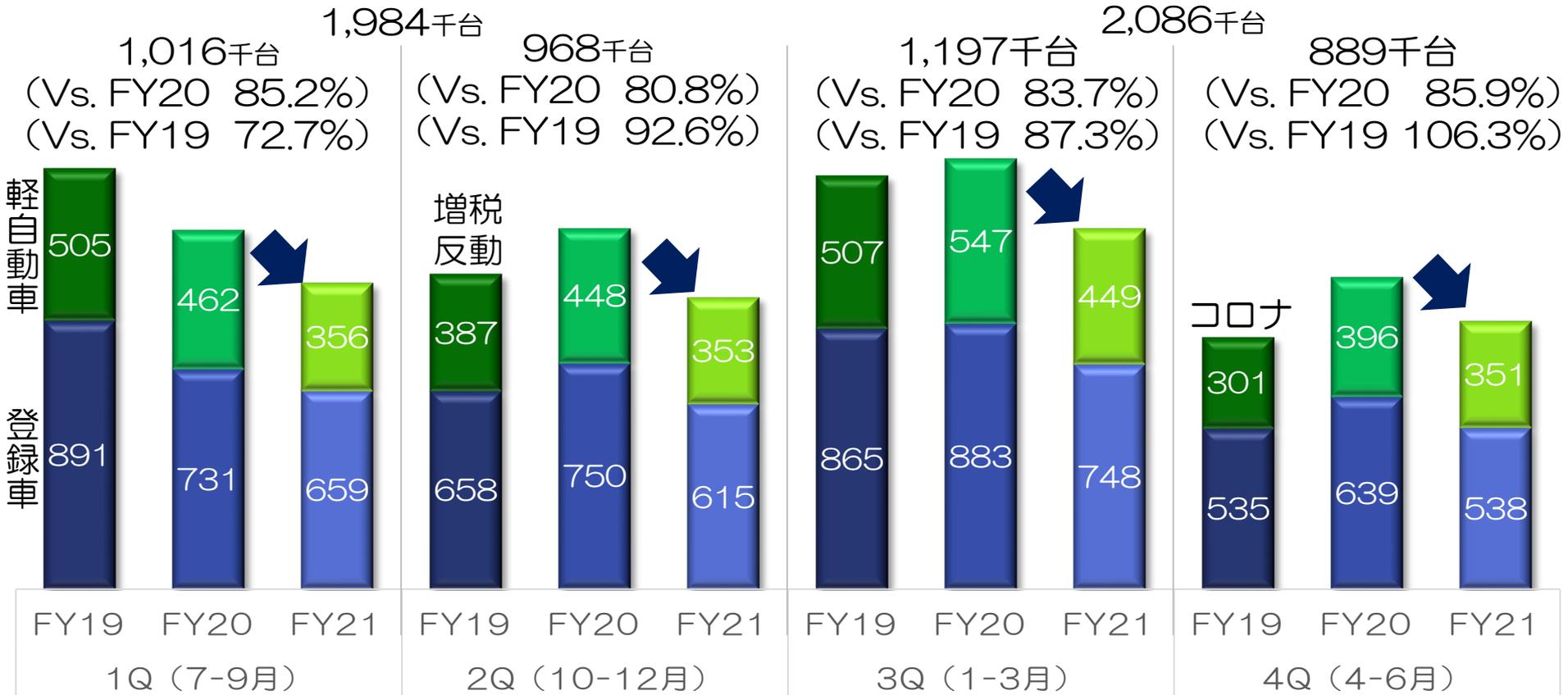
① 2022年6月期の振り返り

- 2022年6月期の国内自動車総市場
- 2022年6月期の業績概要と業績分析

② 2023年6月期の展望

- 2023年6月期の業績予想とその前提

2022年6月期の振り返り ① 国内自動車総市場（新車販売台数） 4

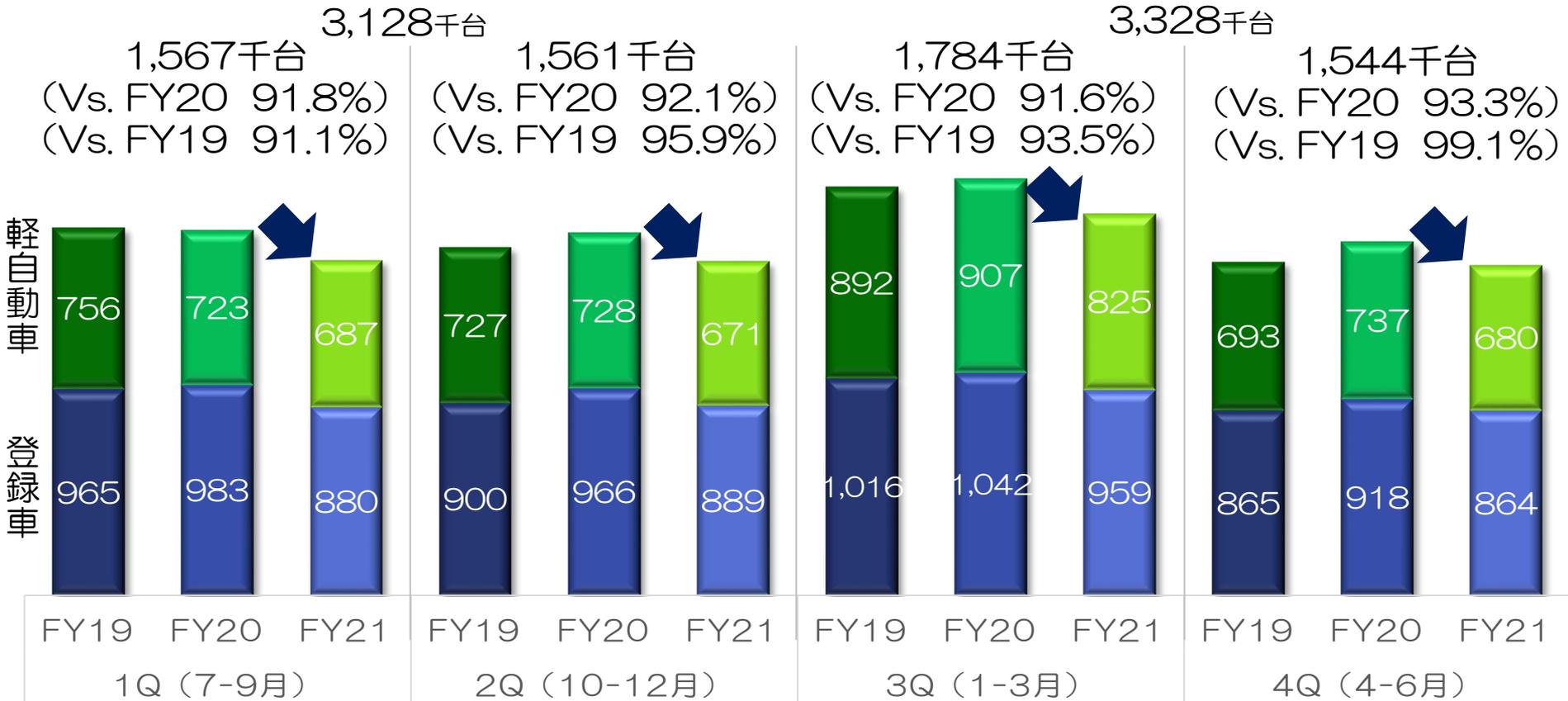


新車	FY19	FY20	FY21
総合計	4,650千台	4,855千台	4,070千台
前年比	87.9%	104.4%	83.8%

1-6月	FY19	FY20	FY21
総合計	2,207千台	2,464千台	2,086千台
前年比	80.2%	111.6%	84.7%

ブランド別	FY21 7-12月	前年比	FY21 1-6月	前年比
トヨタ	639千台	83.1%	638千台	81.3%
日産	200千台	86.2%	229千台	90.7%
ホンダ	264千台	86.3%	291千台	92.1%
三菱	34千台	103.9%	45千台	102.9%
BMW	26千台	81.9%	23千台	82.9%

2022年6月期の振り返り ② 国内自動車総市場（中古車台数）



中古車	FY19	FY20	FY21
総合計	6,814千台	7,004千台	6,455千台
前年比	98.0%	102.8%	92.2%

AA	FY19	FY20	FY21
単価	533千円	599千円	688千円
前年比	-	112.4%	114.9%
出品数	7,001千台	6,722千台	6,378千台
成約数	4,364千台	4,578千台	4,375千台
成約率	62.3%	68.1%	68.6%

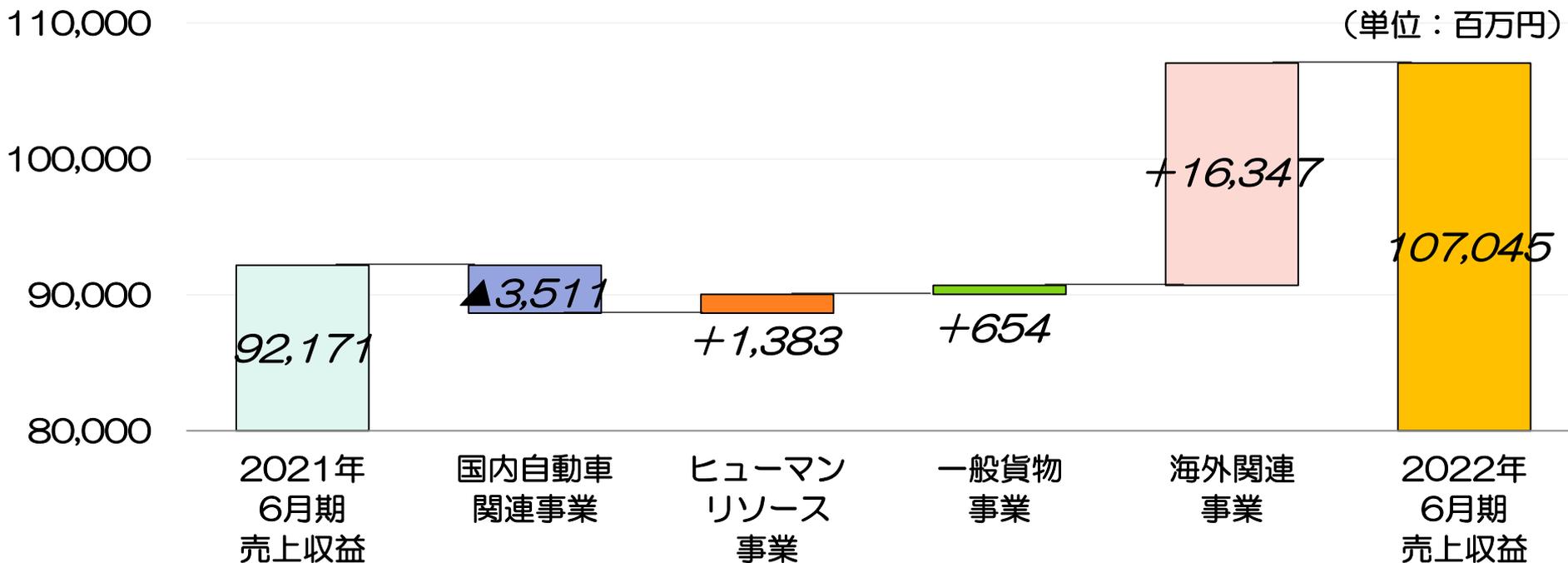
- FY21の結果は650万台割れ
- AAの平均単価と成約率は上昇の一途

(単位：百万円)	2020年 6月期 実績	2021年 6月期 実績	2022年 6月期 実績	前年実績 との差異	2022年 6月期 業績予想
売上収益	89,501	92,171	107,045	+14,874	102,000
営業利益 (営業利益率)	3,675 (4.1%)	5,332 (5.8%)	3,912 (3.7%)	▲1,420	4,050 (4.0%)
税引前利益	3,679	5,373	3,947	▲1,426	4,050
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,374	3,626	2,535	▲1,091	2,700
基本的1株あたり 当期利益	142.30円	216.55円	150.91円	▲65.64円	160.67円
年間配当金	35.60円	54.10円	37.70円	▲16.40円	40.20円

- 売上収益：半導体不足に伴う自動車減産の影響を受け、国内自動車関連事業は減収になるも、中古車輸出事業の拡大や中国における陸友物流の連結化により海外関連事業が増収となった結果、売上収益1,000億円を超過した。
- 営業利益：国内自動車関連事業の減収および燃料単価の高騰、さらに雇用調整助成金減少の影響を受けて、減益となった。

2022年6月期の業績概要と業績分析 ② 業績分析（売上収益）

(単位：百万円)



国内自動車関連事業 54,993 → 51,482

- 車両輸送事業における減収 ▲2,400
- 自動車周辺事業における減収 ▲1,100

一般貨物事業 5,769 → 6,423

- 運輸・倉庫事業における増収 +470
- 港湾荷役事業における増収 +180

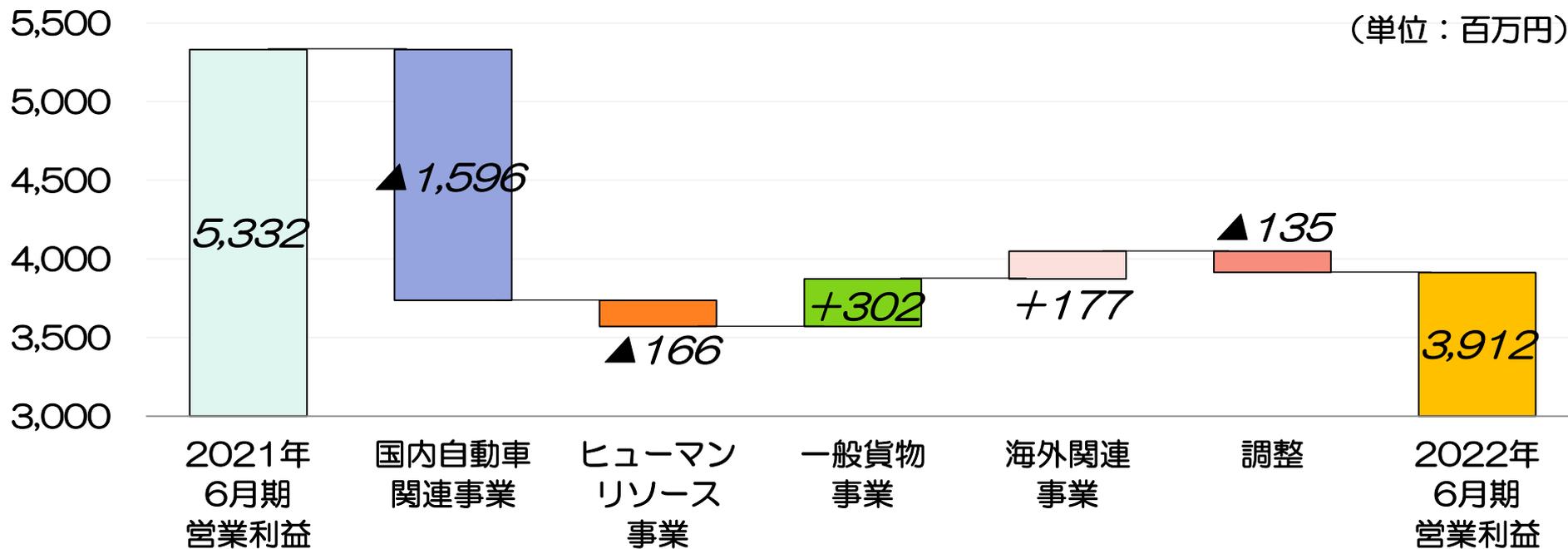
ヒューマンリソース事業 17,946 → 19,330

- 送迎事業における増収 +520
- 人材サービス事業における増収 +860

海外関連事業 13,461 → 29,809

- 中古車輸出事業における増収 +12,500
- CKD事業における増収 +450
- 陸友物流の連結化に伴う増収 +3,400

（単位：百万円）



国内自動車関連事業 5,799 → 4,202

- 自動車関連事業の減収に伴う減益 ▲800
- 燃料単価の上昇 ▲460
- 海上輸送の燃料サーチャージ上昇 ▲340

ヒューマンリソース事業 833 → 666

- 増収に伴う増益 +160
- 雇用調整助成金の剥落 ▲330

一般貨物事業 757 → 1,060

- 運輸・倉庫事業における増益 +60
- 港湾荷役事業における増益 +240

海外関連事業 7 → 184

- 中古車輸出事業における増益 +120
- CKD事業における増益 +100
- 陸友物流における減益 ▲40

資産	2021年 6月末	2022年 6月末	差異
現金	5,904	5,180	▲ 724
営業債権	12,914	15,877	+2,963
棚卸資産	927	2,603	+1,676
その他	313	942	+629
流動資産合計	20,060	24,605	+4,545
有形固定資産	21,895	21,199	▲ 696
のれん及び 無形資産	2,320	2,981	+661
投資不動産	3,262	3,145	▲ 117
持分法で会計処理 されている投資	788	497	▲ 291
その他	2,606	2,465	▲ 141
非流動資産合計	30,875	30,290	▲ 585
資産合計	50,935	54,895	+3,960

負債及び資本	2021年 6月末	2022年 6月末	差異
短期借入金	1,572	4,003	+2,431
営業債務	6,283	8,433	+2,150
リース負債	3,066	2,666	▲ 400
その他	3,896	3,526	▲ 370
流動負債合計	14,819	18,631	+3,812
リース負債	5,964	3,851	▲ 2,113
その他	1,850	1,798	▲ 52
非流動負債合計	7,817	5,649	▲ 2,168
資本金	3,390	3,390	0
資本余剰金	3,437	3,458	+21
利益剰余金	21,809	23,440	+1,631
その他	▲ 342	323	+665
資本合計	28,298	30,614	+2,316
負債及び資本合計	50,935	54,895	+3,960

(単位：百万円)	2021年 6月期	2022年 6月期	増減額	コメント
営業CF	8,594	3,954	▲4,640	
当期利益	3,614	2,521	▲1,093	当期利益の減少
減価償却費および償却費	4,581	4,682	+101	輸送機材の増車
その他	399	▲3,249	▲3,648	営業債権・棚卸資産の増加
投資CF	▲3,104	▲3,266	▲162	
有形固定資産等の取得	▲2,968	▲2,595	+373	
その他	▲136	▲671	▲535	子会社株式の取得
財務CF	▲4,364	▲1,608	+2,756	
リース債務の支払	▲3,287	▲3,031	+256	IFRS16号によるもの
短期借入金の増減	▲435	2,351	+2,786	
その他	▲641	▲928	▲287	

◆ 目次

① 2022年6月期の振り返り

- 2022年6月期の国内自動車総市場
- 2022年6月期の業績概要と業績分析

② 2023年6月期の展望

- 2023年6月期の業績予想とその前提

(単位：百万円)	2022年 6月期 実績	2023年 6月期 業績予想	前年差	前年比
売上収益	107,045	109,000	+1,955	101.8%
営業利益 (営業利益率)	3,912 (3.7%)	4,200 (3.9%)	+288	107.4%
税引前利益	3,947	4,200	+253	106.4%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,535	2,700	+165	106.5%
基本的1株あたり 当期利益	150.91円	160.67円	+9.76円	106.5%
年間配当金	37.70円 内) 中間 15.00円	40.20円 内) 中間15.00円	+2.50円	106.6%

業績予想の前提

- 自動車生産は以下の通りの前提も、オミクロン株（BA.5およびBA.2.75）感染者数拡大による不確実性を別途織り込み。
2022年7-9月：緩やかな回復、10-12月：通常生産、2023年1-3月：挽回生産
- 車両輸送事業における燃料サーチャージ制の導入により、燃料価格が変動しても営業利益へ影響を及ぼさない見込み。